

**「臨海副都心有明北地区まちづくりマスタープランの一部見直し（案）」及び
「臨海副都心有明北地区まちづくりガイドラインの改定（案）」に係る意見募集の結果**

港湾局では「臨海副都心有明北地区まちづくりマスタープランの一部見直し（案）」（以下「マスタープラン」という。）及び「臨海副都心有明北地区まちづくりガイドラインの改定（案）」（以下「ガイドライン」という。）を公表し、都民の皆様から御意見を募集いたしました。貴重な御意見を頂きましてありがとうございました。

1 意見公募の期間及び件数

- (1) 意見公募の期間 令和3年10月14日（木曜日）から令和3年11月12日（金曜日）まで
- (2) 御意見の件数 マスタープラン：7件、ガイドライン：22件
(お寄せいただいた御意見には、1件の中に複数の内容が含まれているものもありました。)

2 御意見の内容及び都の考え方

※御意見の内容は要約して掲載しております。また、同様の御意見を複数の方から頂いたものにつきましては、まとめて掲載しております。

(1) マスタープランについて

御意見の内容	都の考え方
ア 開発の考え方	
マスタープラン全般に賛成する。 ぜひ未来の都民のために、オリンピックのレガシーを集約し、スポーツや文化の振興に活用し、国際性豊かな地区として発展できる開発をお願いしたい。	今後、本地区の特徴である大会レガシーとなる競技施設等を生かして、スポーツを核とした新たな価値や魅力を創造する持続可能なまちづくりを推進してまいります。
新旧対照表1ページ「開発の考え方」において、「大会レガシーを積極的に活用したスポーツ機能を中心に」という記載は抽象的なので、有明のユニーク性を出すため、「大会レガシーを積極的に活用し、生活・遊びの延長にある身近なスポーツ機能を中心に」と記載してもらいたい。また、「活気とにぎわいあふれる市街地を形成していく」については、「活気とにぎわいあふれ、安全・安心で生活利便性の高いライフスタイルが楽しめる市街地を形成していく」と記載してもらいたい。	頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。 今後、本地区の特徴である大会レガシーとなる競技施設等を生かして、スポーツを核とした新たな価値や魅力を創造する持続可能なまちづくりを推進してまいります。
有明の落ち着いた街と、居住者や有明で働いている人たちの生活利便性も大切にしてほしい。 有明に住んでいて、毎日散歩している地区なので、これからのまちづくりを楽しみにしている。	頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
マスタープランの変更に反対する。以前のプランを前提にしていた人が納得できる変更理由を含めてきちんと説明をすべきではないか。 有明は、そもそも昼間人口も含めて人口が少なく、それゆえ、店が少ないなどの弱点がある。居住用マンションやオフィスを作って人口を増やすべきで、防災公園など公園は十分あるので、公園の拡張により無駄に土地を利用すべきではない。変更せず元の計画どおりでやってほしい。	これまで住宅を中心とした複合市街地として発展してきた有明北地区においては、東京2020大会で、数多くの競技が実施されるなど地区の状況が大幅に変化してきております。 今後、本地区の特徴である大会レガシーとなる競技施設等を生かして、スポーツを核とした新たな価値や魅力を創造する持続可能なまちづくりを推進していくため、マスタープランの土地利用等について一部見直します。これにより、活気とにぎわいあふれる市街地を形成してまいります。
イ 土地利用	
新旧対照表2ページ「土地利用方針 (1)土地利用方針 ○1区域」において「海辺の景観」という文言が削除されているのはなぜか。	ガイドラインの該当箇所と同様に、「海辺の景観」を削除し、「海への眺望」として文言の整理を行ったものです。
1-4地区西側・1-5地区東側の公共公益系用地について、江東区役所の支所、図書館の貸出し・返却のできる場所、郵便局等ができれば住民の生活は一段と便利になると思う。	1-4地区西側・1-5地区東側は、有明体操競技場が当面の間、展示場として利用される方向性が打ち出されており、今回の公共公益系用地への変更はそれを踏まえたものです。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
ウ 公園・緑地の整備	
緑を増やす案は素晴らしいと思う。 西入江の砂浜については予定どおり整備してほしい。新旧対照表4ページ「公園・緑地の整備 (1)有明親水海浜公園（仮称）」において、船着場については言及されているが、西入江の砂浜の整備についても言及してもらいたい。 有明親水海浜公園（仮称）の整備スケジュールに変更はあるか。近くに住んでおり、住民として大変楽しみにしている。少しでも早く開園できるよう検討してもらいたい。	有明親水海浜公園（仮称）の具体的な整備・運営内容等については、頂いた御意見も参考に検討を進めてまいります。
有明親水海浜公園（仮称）は、緑の芝生のような公園になるのか。それとも、オリンピックのスケートボードのような施設ができるのか。	
既定計画の有明親水海浜公園（仮称）を拡大整備するのは賛成である。 公園内に園児から小学生までの子どもが楽しめる遊具を設置してほしい。有明エリアには子どもが遊べる遊具が極端に少ないので、是非とも検討をお願いしたい。	
公園地区には、子どもたちの健康で安全な生活のため、遊具や安全にスポーツ体験ができる設備を設置してほしい。特に有明地区は遊具のある公園が少ないので配慮をお願いしたい。	
1-1地区・1-2地区の公園緑地用地に、親子で参加できるような農業体験や畑をできる場を作ってほしい。身近で野菜等の成長を見られるのも、とても子どもの心の成長に役立つと思う。 農業、畑、植物に関するワークショップを開催し、畑の先生や料理の得意な住民に料理を作ってもらおう場も設けたら、地域のコミュニケーション活性化の場になるのではないか。	

エ 歩行者空間・交通基盤の整備	
<p>にぎやか施設の周辺には、余裕のある歩道幅の確保や、自転車道の整備など、全国でもモデルになるような交通事故の起きない安全な地区として道路等の計画をお願いしたい。</p> <p>BRTの拡張や交通機関の充実にも並行して取り組んでいただけると、さらにレガシー施設の活用が進むものと思う。</p>	<p>頂いた御意見も参考に、安全で快適な歩行者空間の創出や、自転車通行空間の整備を行ってまいります。また、周辺既成市街地へのアクセスを充実させるため、都心と臨海副都心とを結ぶBRTを導入するとともに、ゆりかもめや都営バス等の既存の交通網との連携を強化し、利便性の向上を図ってまいります。</p>

(2) ガイドラインについて

御意見の内容	都の考え方
ア 土地利用	
<p>有明北1-4、1-5地区には、現在、既に建物があるが、それを公共公益の建物に建て替えるということか？</p>	<p>既存の有明体操競技場は改修工事行い、今後、展示場として後利用されることとなっております。</p>
<p>公共公益系用地に、図書館の検討をお願いできないか？ 現在、有明の一般の方が図書館を使う場合、最寄り豊洲のシビックセンターとなり、かなり遠い。</p>	<p>頂いた御意見につきましては、地元区に要望としてお伝えします。</p>
<p>スーパー、ドラッグストア、100円ショップ等の生活雑貨、ファストファッション、ファミレスなどが入った低価格帯の小規模の複合施設が無いため、有明アーバンスポーツパーク跡地等の空き地に誘致して欲しい。</p>	<p>ガイドラインでは、有明テニスの森駅周辺に業務・商業機能の誘導を図ることとしております。</p> <p>頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
<p>要望は青海にある解体予定の観覧車を移転すること。</p> <p>有明の新たなシンボルとなることと賑わいや景観にもいい影響を及ぼすと思う。</p> <p>またここにミニ遊園地などを作るのも面白いと思う。</p> <p>デジタルミュージアムなども移転させると賑わいに繋がると思う。</p>	<p>本地区では「東京2020大会のレガシーをはじめとした多様な機能の集積により、魅力的なライフスタイルを楽しめる複合市街地」の形成に向け、多様な機能の導入を目指しております。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
イ 公園・緑地の整備	
<p>有明にはこどもの遊具がある公園が少ないので、遊歩道が整地されただけの公園ではなく、大きな滑り台やブランコなど楽しく遊べる公園になると嬉しい。</p> <p>また「水辺」というテーマもあるので月島や豊洲にあるようなじゃぶじゃぶ池を作ってほしい。</p> <p>どこのじゃぶじゃぶ池も夏になると家族連れで賑わい、自転車で少し遠くからも利用者が訪れる。遊具だけだと近隣住民の行き交いになるがじゃぶじゃぶ池を作ることでもっと広域に人が集う活気ある公園にしてほしい。</p>	<p>有明親水海浜公園（仮称）の具体的な整備内容については、頂いた御意見も参考に検討を進めてまいります。</p>
<p>有明北緑道公園へのアクセスが非常に悪いので、ふじみばし（補助315号線）から階段で、有明北緑道公園の北側に降りれるようにしてほしい。新豊洲のぐるり公園とのつながりもよくなって魅力的な公園づくりになると思う。</p>	<p>頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
<p>有明親水海浜公園の西入江の砂浜の予定は、是非予定通りお願いできればと思っている。</p> <p>現行の1区域の土地利用の方針（イ）の記述では「東西両入江の周辺」に公園や公共公益施設を配置する旨があり、西側にも触れていたものが、西側がなくなっており、懸念している。</p> <p>また、整備スケジュールについて、今回のスケジュール変更により、早くなる、もしくは遅くなるというものはあるか？</p>	<p>有明北1-1・1-2地区を公園緑地用地とすることに伴い、現行ガイドラインに記載のある「区域の西側」を含め「区域の北側」と表現しております。</p> <p>有明親水海浜公園（仮称）の具体的な整備内容等については、頂いた御意見も参考に検討を進めてまいります。</p>
<p>有明北緑道公園や有明親水海浜公園、豊洲ぐるり公園など水辺の公園において、使用されているライトの色が昼白色であるため、工業的に感じられる。ライトの色を電球色に変更すれば夜の水辺の雰囲気により魅力的になり、公園を目的に訪れる人も増えると思う。</p> <p>有明地区においても水辺の魅力をより高めるために、ライトの色の変更を含めたライトアップの方法についてぜひご検討いただきたい。</p>	<p>公園の具体的な整備内容については、頂いた御意見も参考に検討を進めてまいります。</p>
ウ 道路ネットワーク	
<p>1-1地区の公園と1-6・1-7地区の間の道路は、車の進入規制をしてほしい。公園に至る周辺の歩行空間がこの道路で分断されてしまうと、安全安心やにぎわいが失われてしまうと思う。曜日や時間帯の規制の検討をお願いしたい。</p>	<p>自動車の進入規制等については交通管理者等に御意見をお伝えします。</p>
エ 歩行者ネットワーク	
<p>スポーツセンター前の交差点はトラックが多いので、のぞみ橋あたりに信号を増設して速度が落ちたところでまた交差点だと良いのではと考える。</p>	<p>信号の設置等については交通管理者等に御意見をお伝えします。</p>
<p>「補助315号線」と、「台場・有明北連絡道路」との交差点において、現状、「有明北2-1地区」と「有明北4-1地区」とを結ぶ横断歩道が無い。</p> <p>「歩行者のネットワーク」を十分なものにするために、もう片方にも横断歩道を整備してほしい。</p> <p>この横断歩道がないため、のぞみ橋の北側を通行せざるを得ない。北側は一部歩道が狭く、自転車も通るため、危険である。お台場エリアと有明エリアの相互活性のためには、横断歩道を設け、のぞみ橋南側を使えるようにするべきである。</p> <p>※同様の意見他17件</p>	<p>横断歩道の整備等については交通管理者等に御意見をお伝えします。</p>
<p>にぎわいロードの西端（改定案の歩行者のネットワーク図の図中3の動線）は、現状狭くて暗く、道の存在もわかりにくい。もっと安心して通れるように広く明るくしてほしい。</p>	<p>当該通路は有明北緑道公園への補完的な動線として、緑の連続性等を確保しながら敷地内通路として整備されたものです。</p> <p>御意見につきましては建物所有者等にお伝えします。</p>
<p>南北方向の動線（改定案の歩行者のネットワーク図の図中4の動線）は、にぎわいロードとの交差点に信号がないため危ない。にぎわいロードは、朝夕の通勤時間帯の車の抜け道になっており、狭い道路を車がスピードを出して通る。通学路にもなっているので、信号を設置してほしい。また、歩道も狭く、雨天時は傘がぶつかったり、自転車も危ない。歩道幅を広くして、自転車専用レーンも整備してほしい。</p>	<p>信号の設置等については交通管理者等に御意見をお伝えします。</p> <p>にぎわいロードにおいては、道路状況を踏まえ、自転車用の路面表示を行っております。また、沿道での開発の際には、歩道状空地の整備により、快適な歩行者空間を誘導してまいります。</p>

<p>有明テニスの森駅からの動線（改定案の歩行者のネットワーク（カ）に示す動線）について、2階部分をデッキでつなぎ、駅から道路に降りることなく、安全安心に、周囲の業務・商業機能に渡れるようにしてほしい。有明テニスの森駅周辺にBRTの停留所が整備されると、更に駅周辺の動線が絡みあうため、2階デッキで動線を分けて安全にしてほしい。</p>	<p>ガイドラインにおいて、有明テニスの森駅に隣接する敷地では駅との円滑で連続した歩行者動線を確保するよう努めることとしております。 頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
<p>東京駅から国際展示場までの地下鉄延伸と併せて国際展示場駅から有明テニスの森公園や周辺施設等に地下道を設置して各イベント時のスムーズな人流の創造、また有明北地区エリアからの移動時間短縮による、更なる価値の向上を要望する。</p>	<p>都心部・臨海地域地下鉄構想については「東京圏における今後の地下鉄ネットワークのあり方等について（答申）」において、検討の深度化を図ることとされております。 地下道の整備については、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
<p>今後、街が成熟していくにつれて、交通量の増加が予想されるため各施設を繋ぐペDESTリアンデッキの設置や信号の設置など、要望する。</p>	<p>本改定において、「有明テニスの森駅・国際展示場駅と有明親水海浜公園や駅周辺施設、公共公益施設とをつなぐ動線については、地区内の回遊性向上や施設間の円滑な誘導を図るため、安全で快適な歩行者空間を創出する。」と追加します。 ペDESTリアンデッキの設置等、安全で快適な歩行者空間の創出について、今後の開発において誘導してまいります。</p>
<p>オ その他周辺環境への配慮（騒音、景観、にぎわい形成）</p>	
<p>改定案の都市景観形成方針（1）の「周辺環境に配慮しつつ」は、夜間の騒音についても記載してほしい。周囲には多くの居住者がいて、有明の落ち着いた街の良さを大切にしたい。</p>	<p>ガイドラインでは良好な住環境形成のため建築物や自動車等の騒音対策を掲げています。 今後も、良好な住環境が確保されたまちづくりを誘導してまいります。</p>
<p>改定案の都市景観形成方針（1）の「魅力的な夜間景観の形成」は、夜間景観を近くで感じられるよう、整備予定の船着場を利用したナイトクルージングと、にぎわいのある商業施設とがセットになると、有明のユニーク性がでて魅力的なまちづくりになると思う。</p>	<p>運河沿いの開発計画については、水面への映り込みや対岸などからの眺望を考慮することで、魅力的な夜間景観の形成に寄与する計画となるよう誘導してまいります。 なお、船着き場の運用等については、事業者等に御意見をお伝えします。</p>
<p>お台場と有明をつなぐシンボルプロムナードの延長線として、国際展示場駅から南北に延びるシンボルプロムナードとなるように、テニスの森公園からの南北の道路と、にぎわいロードの交差点周辺に、「大会レガシーをアイストップとしたスポーツを中心にしたにぎわい空間」が整備されたら良いと思う。有明北だけでなく、お台場地区と一体になったまちづくりが魅力的だと思う。</p>	<p>ガイドラインでは、にぎわいロード等に接する敷地において、にぎわいの演出等を図ることや、道路沿いの壁面後退によって生まれるオープンスペースはにぎわいの場となる演出を施すよう、定めております。 改定予定のまちの将来像を踏まえ、今後の開発において、にぎわい空間の形成を誘導してまいります。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>